

福島第一原子力発電所 当社社員におけるAPD・蛍光ガラス線量計不携帯について

< 参 考 資 料 >
2021年8月18日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 本日（8月18日）午前10時30分頃、当社社員の警報付ポケット線量計（APD）と蛍光ガラス線量計が高温焼却炉建屋付近の装備交換所に置き忘れられていることを協力企業員が発見しました。
- 午前10時35分頃、作業を終え高温焼却建屋付近の装備交換所へ戻った当社社員は、その場にいた当該協力企業作業員から、APDと蛍光ガラス線量計が置き忘れていたことを告げられ、不携帯で作業を実施していたことに気づきました。
- その後、APDと蛍光ガラス線量計については、本人（当社社員）が装着して通常通り退域しています。
- 今後、使用者の被ばく線量の評価を行うとともに、APD・蛍光ガラス線量計を置き忘れた経緯等、詳細を確認し、再発防止に努めてまいります。



図. APD・ガラスバッジ不携帯で移動したルート

<参考> 時系列

【時系列】

2021年8月18日（水）

09:00頃 救急医療室においてK Y、出発

09:10頃 入退域管理棟出発

09:20頃 高温焼却建屋装備交換所に到着

09:25頃 装備交換（G⇒Y装備）

この時、ストラップごとAPD・蛍光ガラス線量計を首から外した

09:30頃 作業開始

10:30頃 協力企業作業員が、高温焼却建屋装備交換所にて置き忘れられた

APDと蛍光ガラス線量計を発見したと緊急時対策本部に連絡

10:35頃 作業を終え、高温焼却建屋装備交換所に到着

その場で待機していた協力企業作業員（発見者）から、APDと蛍光ガラス線量計を置き忘れていたことを告げられ、不携帯で作業を実施していたことに気づく

11:07頃 APDと蛍光ガラス線量計を本人（当社社員）が装着して通常通り退域